

# “祝 歴史を継ぎて母校創立110周年 栄えあれ 我らが関東支部同窓会”



## 第32号



題字 野崎耕二書(30年卒)  
 発行所 薩南工業高等学校 同窓会関東支部  
 編集発行人 福留 勲  
 編集 土木科・都市工学科  
 発行日 2019年4月27日  
 印刷所 株式会社 盈進社  
 東京都千代田区飯田橋2-3-2  
 TEL 03(3262)3471

### 平成三十年 総会・懇親会模様

関東支部(以下「関東さつなん」と表記)総会・懇親会は母校が創立百十周年を閲する栄光の前年祭に当たり、また関東さつなん発足六十周年記念として行われました。

平成三十年六月二十三日(土)上野の森陽外ゆかりの宿「水月ホテル 陽外荘」において、梅雨空のもとではありましたが、総勢百名集まり大盛況で心の奥に強きさまれる会となりました。なお、今回は関東さつなん会報発行(今年第三十二号)や六十周年記念誌(昭和十九年建築科卒永崎一則先輩の生きるエネルギーに点火し続けた「心のふるさと母校さつなん」)発行を通して会員相互の意思疎通や母校への誇りを感じ、長い伝統と重い歴史を継承することを心に刻みました。

#### 第一部 総会

司会者の開会のあいさつのおと逝去会員へ対し黙祷を捧げ、ご冥福を祈念しました。全員で高らかに校歌を大合唱、母校への想いを届けました。福留支部会長から支部発足六十周年を迎え、諸先輩及び会員への感謝の意、同窓会出席についての状況と若い世代(新卒者)への対応ホームページを開設し、その効果により多くの会員が同窓会へ出席していただくことへの期待と今後の支部繁栄のため、ご協力を呼びかけられました。

続いて議事に入り、平成二十九年の「会務報告」「会計報告」「会計監査報告」「役員改選」の報告がありそれぞれ全会一致で

出席者の承認を得ました。その後、橋口同窓会本部長、大保学校長、有園(機械科)先生から母校の近況報告をいただきました。特に、母校創立百十周年記念事業のプログラムが示され、行事などへの協力をお願いがありました。共通して話されたことは、在校生の学習意欲・各種行事への頑張り、笑顔、部活動を通して運動部、文化部などの大活躍のご報告がありました。その中から「学校教育運営の充実、地域と連携した教育活動にも、ものづくりへの心と技が共に引継がれています」と、先生方が生徒に対して全力を傾注するお気持ち伝わってきました。

者はジマーみはる先生(本名佐藤美晴 電気科昭和四十七卒 佐藤高峰氏の娘さん)がかけつけてくださいました。ジマーみはる先生は今回、親しみのあるカジュアルな曲「関東さつなん同窓会の歌」の作曲を手掛けていただき、その縁で懇親会でのホルン演奏も快くお受けいただきました。曲目は「川の流れのように」青い山脈「ふるさと」乾杯「花は咲く」とご自分でリリースされたCD(湘南の海と長野諏訪湖を題材にしている)からオリジナル曲を演奏していただきました。会場はその懐かしい歌詞とリズムに酔いしれて大拍手、喝采で懇親会は最高潮に達し、出席者のみなさまに深い感動の余韻を残してくださいました。そして「関東さつなんの会」の鹿兒島おはら節など懐かしい曲で躍動あふれる踊りをご披露いただきました。懇親会の最後にお楽しみビンゴゲームがあり収益金は母校の生徒会へ全額運営費として贈られました。

万歳三唱は田中副会長がユニークな話術で最後を盛り上げ、山崎副会長閉会のあいさつで楽しい宴を締めくくり、次の再会を誓って散会となりました。

「関東さつなん」ステップアップに向けて 関東さつなんでは、若手の新卒会員の掘り起こし促進、年会費の引下げによる会員増、さらに、会報編集の内容・検討改善等に取組んでいます。これ以上のステップアップを目指して一歩前進してまいります。そして「関東さつなん」は母校とのきずなを一層深く、同窓会本部との連携を図るなかで、さらに活力ある同窓会発展にご尽力してまいります。

今後とも積極的な出席、ご協力・ご支援をよろしくご願ひ申し上げます。

「会計監査報告」「役員改選」の報告がありそれぞれ全会一致で

続いて議事に入り、平成二十九年の「会務報告」「会計報告」「会計監査報告」「役員改選」の報告がありそれぞれ全会一致で

続いて議事に入り、平成二十九年の「会務報告」「会計報告」「会計監査報告」「役員改選」の報告がありそれぞれ全会一致で

続いて議事に入り、平成二十九年の「会務報告」「会計報告」「会計監査報告」「役員改選」の報告がありそれぞれ全会一致で

続いて議事に入り、平成二十九年の「会務報告」「会計報告」「会計監査報告」「役員改選」の報告がありそれぞれ全会一致で

### 同窓会関東支部総会のお知らせ

日時 2019年6月22日(土) 正午(12時)

場所 文豪 森鷗外ゆかりの宿 『水月ホテル 陽外荘』  
東京都台東区池之端3-3-21

交通 JR上野駅公園口又は不忍口から徒歩15分(別紙案内図参照)  
京成上野駅池の端口から徒歩10分  
東京メトロ千代田線根津駅2番出口から徒歩8分

講演 昭和49年建築科卒 「トシ・カツ・サチ・マサ&サダム」

演題 「それぞれの人生、薩南と…」

### 年会費納入のお願い

東京オリンピック開催を来年にひかえ、母校より新卒者が従来にも増して関東地方へ多く就職しております。支部では、新しい仲間をあたたく歓迎したいと思います。希望に満ちた時間と空間の中で、新しい「関東支部」を創っていきませんか。

また、私たちは皆様と協働の精神で、会報誌「関東さつなん」を育てていきたいと考えています。役員会への参加、および、会報誌作成への積極的な参加を待ち望んでいます。ぜひ、ご一報を下さい。

役員一同

支部年会費は、2,500円です。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

### 本誌ガイド

- \* 平成三十年総会懇親会模様…………… 1
- \* 同窓会本部長・学校長・支部会長挨拶・永崎名誉顧問からのメッセージ…………… 2
- \* 母校だより…………… 3
- \* 支部会員の活動報告…………… 4
- \* 母校創立記念行事関係その他…………… 5
- \* 特集「行ってみたいくなる橋」…………… 6
- \* 関東支部役員名簿 会務報告…………… 7
- 平成三十年総会・懇親会出席者名簿…………… 8



### ごあいさつ

日ごろより関東支部の皆様方には本部同窓会の運営に対しご協力、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

会報「関東さつなん」が本年も会員相互の親睦融和と情報交流の場として長年に渡り継続して発行されています。本誌にすばらしいことだと思えます。公私ともどもお忙しい中へえに支部事務局並びに編集担当の方々のご尽力に感謝申し上げます。母校は今年十月二十六日に創立百十周年記念式典を執り行いま

本部同窓会会長 橋口 良一

す。現在、同窓会・PTA・学校で記念式典に向け、実行委員会を組織し準備に取り組んでいるところです。行事として慰霊祭・校訓石碑除幕式・式典・記念講演会、水車からくり人形のお披露目、夕方から祝賀懇親会を計画しております。記念講演会は、本校機械科を平成三年に卒業し、三菱重工に入社した知覧町出身の山口翔平氏に依頼しております。山口氏はロケットの製造・組立に従事し、種子島でのロケット打ち上げにも携わっています。生徒たちにも、夢と希望を持ってような講演



### 支部のこれから

わが母校は、明治四十二年(一九〇九年)に開校してから今年で創立百十周年を迎えます。

少子化が進み、学校の統廃合という厳しい社会環境の中でこの日を迎えることができるのは、同窓生として大きな誇りを感じております。

伝統ある母校の歴史がこれからも継承されることを期待するところです。



### ごあいさつ

薩南工業高等学校校長 大保 智

同窓会関東支部会員の皆様には、平素より母校の教育活動に對しまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。また、皆様からの温かい物心両面に渡るご支援をいただき学校として改めて御礼を申し上げます。

今年、創立百十周年を迎える節目の年でもあります。生徒たちは、校訓である「自主・向学・和協」のもと将来の夢に向かって日々頑張っております。

部活動においては、野球部が鹿児島NHK旗争奪に四年連続

会を期待いたしております。

水車からくり人形は地元豊玉姫神社の協力をいただき、生徒と先生方で製作中でございます。なお、式典当日は、知覧小京都祭も同時に開催されていますのでぜひ足を運ぶください。我が母校も、約一万八千名に及ぶ有為な人材を各界に排出し、県内外に、また我が国の発展に大きく貢献をしております。

時代の流れと共に、科の消滅と再編により現在、建築科・機械科・情報技術科・生活科学科の四学科になり、生徒数約三百七十名が学んでおります。在日本の産業界は、人材不足で外国人労働者の雇用が広まり

つつあり、工業高校からの優秀な人材を必要としております。

しかし、少子化により、生徒数が減少傾向にあり、本校も生徒募集に關しては、独自の教育活動を展開し、生徒の充足率を上げるのが重要になります。

今後同窓会の活動を一致団結して継続して悠久の薩南工業高校の歴史と伝統を未来へつないでまいります。同窓生の皆様の力強いご支援のもと百十周年記念事業が大いに盛り上がりましますように、ご協力をお願い申し上げます。結びに、関東支部会員の皆様方のご健康とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

ただくことにより、会員相互の親睦と今後の支部を支えていただくことを期待するところです。また、会員数の減少の要因として新卒者の絶対数が減少しています。まして関東方面へ就職する新卒者の数はこのところ四学科(建築・機械・情報技術・生活科学)合わせて二桁台となつております。できるだけ早期に同窓会へ参加していただくために、本部および母校事務局の連携を得て呼びかけをしております。

新卒者および若い世代(平成卒)の参加については非常に厳しい状況になっております。一つの策として、関東支部のホームページを昨年開設いたし

個人では四十二名中、三年生が第四位と健闘しただけでなく、一年生が十二位となり、今後の活躍が期待される場所です。

また、地域の中の学校として生活科学科では、「茶ボラ」を行いました。お茶のPRボランティアを「茶茶」として小京都祭りや地域行事で行い、市民の方からも大変喜ばれておりました。建築科は、子供祭りや行事などにおいて木材を使った遊び道具や、椅子などの木工製品を提供し、次回もお願いされるほどの人気がありました。情報技術科では、ねぶた祭り

球のLED化や、今年南部九州四県で開催されるインターハイのP

Rのために生徒会が中心となり製作したカウントダウンボードの目録表示部製作を行いました。さらに、市長を訪問し、市役所でのお披露目もしました。

### 「永崎名誉顧問からのメッセージ」

昭和四十六年 建築科卒 草原 陸雄

新春の一月下旬、繁村顧問、阿久根事務局長、草原三名は、本年で九十三歳をむかえられる先輩永崎名誉顧問(以下、敬意表現から「先生」と記す)を訪ねました。先生は居室において、凛としたお元氣なお姿で私

たちを迎えてくださいました。懇談九十分の限られた時間でありましたが、早速、日ごろの会幹部のご苦勞、時代の風潮である逆風の中でよく頑張っているということに対して労をねぎらうお言葉をいただき恐縮しまし

た。さて、強調されている内容は次のとおりであります。「壁を打ち破れ、さつなん卒でも中央の一級の人たちと対等に闘え」と確信を持ってほしい。

「知覧の同じ空気が、風景を漂わせる親しい仲間と語り合う時間はかけがえのないすばらしいものです」

「同窓会は心の活性化や生き抜くモチベーションを高められる最良の場となります」

「ほとんどの人はそれぞれに、応じて人生の終末期を迎えるわけです。私自身、その真真中にあります。いま身体的弱者集団の中にあつて感じていることは、そのときどきの未知の人との交流、それも短い時間の中で心の

のホームページのフェイスブックで紹介しております。スマホや携帯電話でも登録なしで自由に閲覧することができます。ぜひ、母校の様子をご覧ください。

これまで、卒業された先輩方の活躍に続くよう教職員一同生徒の育成に尽力してまいります。今後とも母校の発展・充実のためのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

をとつてもそれまで目を見張るほどのキャリアを持つ初対面の人も人見知りせず自然に対人間関係創出力を発揮できるようになるものです」

「なんでもないように思われるこの同窓会で、どんな年代の人でも、どんな場でも、人との出会いが無意識の中に人間関係の対応能力を身につけられ磨かれるだろうという意味で、人生の成長進化に役立つだろうと私は強く考えています」

いずれも含蓄のある珠玉のメッセージを拝聴しました。このご指導を受け、支部総会における出席率を向上させるため、入りやすい、やりやすいところからアイデアを出し合い、実行したいと考えています。そこで毎年、総会への出席案内を送付していますが、欠席で返信された会員には次回の総会出席を促す策として、返信へのお礼を兼ねた文章を添えて出します。おひとり、おひとりの心に響く呼びかけ、真心のこもった文章化作戦を行うことも視野にいれ考えております。

最後に、永崎先生には同窓会「関東さつなん」だけでなく、人生すべてにおいていつもご指導、ご鞭撻をいただき感謝いたしております。これからもご健在で関東支部へのご意見もご提示いただきたく末永くお付き合いをお願いする次第でございます。

「人間関係はつくられるものでなく、自分からつくるものです。そのために同窓会などへ無精しないよう参加することを強くおすすめします。そうすれば、年

「格好の道場と考えればよいと思っております」

「人間関係はつくられるものでなく、自分からつくるものです。そのために同窓会などへ無精しないよう参加することを強くおすすめします。そうすれば、年

「格好の道場と考えればよいと思っております」

「人間関係はつくられるものでなく、自分からつくるものです。そのために同窓会などへ無精しないよう参加することを強くおすすめします。そうすれば、年



永崎先輩懇談会 平成31年1月25日

**株式会社 アイデア設計**  
取締役会長 下前 和則 (S45年 建築科卒)  
携帯090-8809-3820  
Mail: shimomae@idea-tokyo.co.jp  
東京事務所 〒156-0041 東京都世田谷区大原 2-23-15 大原ビル 5F  
TEL 03-3327-4711(代表) FAX 03-3327-4758  
鹿児島事務所 〒890-0046 鹿児島県鹿児島市西田 1-5-9 第5鶴丸ハイツ 804号  
TEL 099-814-8611 FAX 099-814-8688

都市大型ビルから 集合住宅の総合リニューアルまでを手掛ける (ISO9001:2000認証取得済)  
建築技術者 随時募集中 (採用担当:小出・明京)  
株式会社 **イワサ&M's**  
代表取締役 増田 聡 明  
専務取締役 相星 隆 志 (S46年 建築科卒)  
〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目21番17号  
電話 03 3813 7666(代表) ☎ 0120-50-8183  
ホームページURI: <http://www.iwasa-m.com>  
Eメールアドレス iwasa-m@iwasa-m.com  
支店 横浜・新潟

**SSS** 建築土木・設計施工  
新日鉄住金エンジニアリング(株)販売施工店  
**サンエス建設株式会社**  
一級建築士 田中 清美 会長 (S32年 建築科卒)  
本社 〒115-0045 東京都北区赤羽1-6-7  
Tel 03-3903-7858 Fax 03-3903-7859  
支店 〒331-0852 さいたま市大宮区桜木町4-296-1  
Tel 048-643-5571 Fax 048-643-5572  
<http://www.sss1.co.jp>

**話力総合研究所**  
所長 永崎 一則 (昭和19年 建築科卒)  
〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵 3-10-17  
TEL 048-861-1010  
FAX 048-861-1010

母校だより 建築科 機械科 情報技術科 生活科学科

建築科

同窓会の皆様には、平素より様々なご支援ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

平成三十年度の建築科の報告をさせていただきます。現在、生徒は南九州市・南さつま市・鹿児島市を中心に構成され、近年生徒の減少が叫ばれる中で、地域の方々の建築科への期待をうけながら活動いたしております。

この様な建築科の生徒の取り組みと共に、地域や建設関係協会との連携も図りました。今年度は本校の実習室において『建築の躯体を学ぶ』テーマで、一・二年生が各業者の方々のご指導により配筋・組立ての体験をさせていただきました。六月には本校で企業ガイダンスを開催し十八社の参加・説明を通じて各職業の理解ができました。この体験が進路への意識付けのきっかけになりました。

また、三年生の課題研究班が『建築甲子園』に出展し、県代表として全国大会に進み、奨励賞を受賞しました。今年度は学校創立百十周年を迎え、優秀な人材の育成を目標に日々の学校生活に努力していきまします。最後になりますが、同窓会の皆様の今後のご活躍と末永いご健勝をお祈りいたします。

同窓会関東支部の皆様、日ごろからご支援をいただき感謝申し上げます。さて、昨年度の機械科の生徒の活動として、機械工作部溶接班が八月に行われた県高校生溶接技術競技会で団体優勝し、個人では三年生の東君が二位(優秀賞)という成績を収めました。また、十一月に長崎県で行われた九州大会に出場し、団体六位、個人で東君が四位(優秀賞)一年生の當房君が二位(優良賞)の結果でした。今後も更なる技術の向上を目指し、努力していく所存でございます。

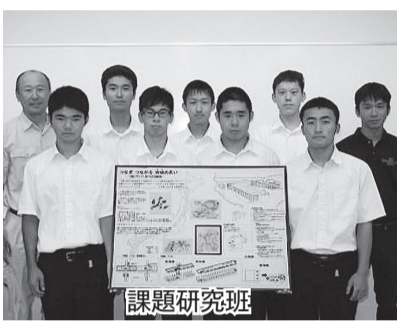
平成から新元号に変わる時代の中で、本校は創立百十周年を迎えます。先輩方の功績や励まぬ努力を受け継げるよう「薩南感謝は無量大数 南部九州総体 2019」をテーマに、同窓会会員皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



鉄筋組立体験



企業ガイダンス



課題研究班

情報技術科

関東支部同窓会の皆様には、日ごろよりお世話になりありがとうございます。今年度も先輩方のお力添えをいただき、多くの求人をしていただくことができました。就職先は、今年も自動車関係が目立ちましたが、情報関係も高卒採用が少なくないながら復活する兆しが見えてきました。

高卒採用を控えていたIT関係企業から数社の求人をしていただくことができました。この傾向が定着すれば、情報技術科本来の職場で技術や能力を生かすことができるようになるので、生徒のモチベーションも向上するこ

とが期待できます。工業系の大会にも積極的に参加し、専門知識や技術を磨くと同時に情報技術科の活性化に努力してまいります。今年度のマイコンカーラリーでは、加治木工業高校で十一月一日実施された九州大会に参加しました。また、今年六月九日鹿児島工業高校で開催された「ものづくりコンテスト鹿児島県大会」には、電気工事部門に女子生徒二名が参加しました。さらに、南部九州総体2019のカウントダウンタイマーの製作依頼があり、大型LEDを用いて写真のようなカウンターを製作しました。

用が大幅に増加しており、生徒の卒業後の活躍が期待されます。最後に、同窓会会員皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会(会場：鹿児島工業高校)

機械科

同窓会関東支部の皆様、日ごろからご支援をいただき感謝申し上げます。

さて、昨年度の機械科の生徒の活動として、機械工作部溶接班が八月に行われた県高校生溶接技術競技会で団体優勝し、個人では三年生の東君が二位(優秀賞)という成績を収めました。また、十一月に長崎県で行われた九州大会に出場し、団体六位、個人で東君が四位(優秀賞)一年生の當房君が二位(優良賞)の結果でした。今後も更なる技術の向上を目指し、努力していく所存でございます。

平成から新元号に変わる時代の中で、本校は創立百十周年を迎えます。先輩方の功績や励まぬ努力を受け継げるよう「薩南感謝は無量大数 南部九州総体 2019」をテーマに、同窓会会員皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

同窓会の皆様方には、日ごろからお世話になりありがとうございます。おかげ様で生活科学科の三年生三十二名全員、十二月までに進路先が決まり、新しい旅立ちを前に最後の学校生活を送っております。

生活科学科

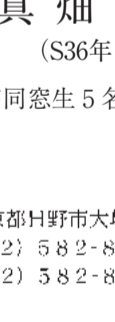
就職先については、大手自動車メーカーの製造部門など、生活科学科としては新たな分野からの採用がありました。進学においても専門学校や短大で、卒業後は様々な分野において活躍し、後輩たちにつないでくれるのではないかと期待しております。

今年度もほかの学科同様、生活科学科でも資格試験や検定試験に取り組みで参りました。三冠王(家庭科技術検定三種目(食物調理・被服製作洋服・和服)一級取得)については、五名が挑戦し、結果が出るのを待っている状況です。また、家庭科の学習内容に関する資格・検定だ

生活科学科では、年間を通して様々な分野の外部講師の授業も実施しております。プロの技術を実践に目にし授業を受けることは、進路を決めていく上で大きな刺激になっているようです。今後もスペシャリストの育成という視点で、外部講師の授業を実施していければと考えております。

この春から、また多くの卒業生が同窓会の先輩方にお世話になります。どうぞご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

お茶インストラクターによるお茶の講習会



お茶インストラクターによるお茶の講習会

同窓会の皆様方には、日ごろからお世話になりありがとうございます。おかげ様で生活科学科の三年生三十二名全員、十二月までに進路先が決まり、新しい旅立ちを前に最後の学校生活を送っております。

就職先については、大手自動車メーカーの製造部門など、生活科学科としては新たな分野からの採用がありました。進学においても専門学校や短大で、卒業後は様々な分野において活躍し、後輩たちにつないでくれるのではないかと期待しております。

今年度もほかの学科同様、生活科学科でも資格試験や検定試験に取り組みで参りました。三冠王(家庭科技術検定三種目(食物調理・被服製作洋服・和服)一級取得)については、五名が挑戦し、結果が出るのを待っている状況です。また、家庭科の学習内容に関する資格・検定だ

生活科学科では、年間を通して様々な分野の外部講師の授業も実施しております。プロの技術を実践に目にし授業を受けることは、進路を決めていく上で大きな刺激になっているようです。今後もスペシャリストの育成という視点で、外部講師の授業を実施していければと考えております。

この春から、また多くの卒業生が同窓会の先輩方にお世話になります。どうぞご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

お茶インストラクターによるお茶の講習会



お茶インストラクターによるお茶の講習会

祝 関東さつなん 32号

- 土木科卒有志
- 桃 蘭 和好 (S35) 東京都八王子市
  - 福 留 勲 (S44) 千葉県鎌ケ谷市
  - 新 原 亨 (S49) 千葉県鎌ケ谷市
  - 西 野 洋一 (S55) 東京都江戸川区
  - 市 坪 勝則 (S58) 千葉県松戸市

株式会社SAWAコーポレーション

代表取締役 沢津橋 敏郎 (昭和49年 建築科卒)

クリニックのプランから施工リフォームの各種改修

〒239-0806 神奈川県横須賀市池田町 1-1-5-307  
TEL・FAX 046-876-9218  
携帯 080-3219-0976  
E-mail: sawatsubashi.t@gmail.com

ARCHITECTS ASSOCIATES YOKOHAMA

株式会社 アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ

代表取締役 平山 正義 (昭和49年 建築科卒)

横浜市西区桜木町5-24-3 サンワビル  
TEL045(201)7062-FAX045(201)7176  
URL http://www.aa-yokohama.co.jp

安全・快適な空間づくりを目指す 株式会社 松下産業

建築・土木施工管理者 建築設備職 中途採用募集中!

代表取締役社長 松下和正  
顧問 繁村隆巳(建築S.34卒) 他OB 9名

東京都文京区本郷1-34-4  
TEL: 03-3814-6901 (代)  
http://www.mats.co.jp

総合建設業 眞生工業株式会社

東京都知事許可(特 30)第114762号

代表取締役 眞畑 徳盛 (S36年 採鉱科卒)

[薩南工高同窓生 5名在籍]

〒191 0061 東京都日野市大坂上2 10 11  
TEL (042) 582-8750  
FAX (042) 582-8751

祝 母校創立110周年

源泉混混として、昼夜を舍かず。科に盈ちて面を後に進み、四海に放る。

知的創造

株式会社 盈進社

代表取締役社長 下園典子

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-2 三信ビル  
TEL 03-3262-3471(代) FAX 03-5210-7226  
URL: www.eishinsya.co.jp Eメール: info@eishinsya.co.jp

# 支部会員の活動報告



## インドネシアで学んだこと

昭和四十九年 大隣 定  
建築科卒

2015年12月、通算30数年間携わった海外業務を終え帰国した。

帰国早々まず驚いたのは、ほとんどの人が車内、歩道など携帯電話片手に下向きに歩く姿、歩道ですれ違う際、ぶつかったり、何も言わず去っていく人の多さに衝撃を受けた。日本はいつからこんな国になったのかと疑問を抱いた時、インドネシア駐在中に接した人々の穏やかさ・考え方が思い起されたので、いくつかインドネシア語を覚えて紹介したい。

最初に「Tidak apa apa...」  
ティダ アバ アバ」意訳は「問題ない」  
例えばバイクのこすり傷事故など発生した場合に、被害者は「Tidak apa apa」と加害者に言っただけで済んだように「Sana Sana・サマサマ・お互い」を言っただけで行く。また多くの所「Tidak apa apa」とよく耳にした。日本では些細な事で暴力事件等発生しているが「Tidak apa apa」と前向きに解決できないのだろうか。

〇二つ目が「Bisa・ゴサ」  
日本語では「できる」  
何か物事など依頼した際、即座に「Bisa」と返事が返ってくる。依頼したほうは、実に頼も



知人の会社の外国人技能研修生

国の一つだという。電車の中では睡眠不足で疲れた顔をよく見かける。日本人はあまり笑っていないし、いつも何か心配事があるような顔をしている。日本人は勤勉で、一生懸命働いて今の日本を築きあげた。でも、会社や組織への貢献ばかり考え、自分の成果を自分が享受する事



## 心構えは青春

昭和四十九年 新原 亨  
土木科卒

揖宿郡額庭町で生れ育ち、薩南工業高校を卒業と同時に在京のゼネコンに就職。入社研修を経て三浦半島南端の私鉄延伸工事に配属となった。何しろ十八歳、見るもの全てが初めてで、時間があると同郷の仲間たちと散々遊び回った。

時代は、昭和四十八年十月の第一次オイルショックに端を発したインフレにより高度成長期も終わったといわれ、十年以上の長期に亘る不況の時代が始まった四十五年前のことである。景気の低迷（公共工事の縮小）を懸念した多くの企業が新卒の採用を手控えたことから、小社でも我が社最後の高卒採用組となった。（後年、現場管理力の低下を憂い、一部の職種で高卒採用の動きがあった）。

仕事にも少し慣れたころになると、四月の入社式で懐いた「学歴に基づく序列」への不満が一段層大きくなり、同じ職場で高卒の先輩に対し「やり場のない感情」をぶつけた。それ以来の付き合い合いをさせていたれているが、その先輩も古稀を祝うころとなった。

進んだ。何れの工事も通勤電車の混雑緩和など国の運輸政策に沿ったものである。そのため都市部での営業中の電車線が相手の難易度の高い工事であり、いろいろと苦労も多かったが、工事竣工の都度「優秀な仲間や協力会社の職員・作業員」に恵まれたことを心から感謝している。その後、管理部門に異動し新規案件のプロポーザル業務に専念していた矢先に東日本大震災が発生。国家の一大事である。「福島第一原子力発電所の廃



## 突然の頭痛！原因はいつた何？

昭和四十八年 田中 逸穂  
機械科卒

健康について触れてみたいと思います。それは忘れもしない、昨年十二月二十八日の出来事です。いつもの通りに起床し、いつものように会社へ出勤しました。仕事を始めてから一時間後くらいにトイレに向かう途中、フラフラで何かがおかしい、いつもと体の様子が違う、何か変です。まずは、様子を見てみよう。暫く時間がたっても状況は変わらず、それどころか、頭痛から激痛に急変しました。

仕事にも集中できず、別室で安静していました。痛みは増すばかりです。年末年始でもあり、病院も休みに入ることから、午後休暇を取り病院でMRIの検査をしたところ全く異常なし、正常とのことでした。念のために血圧を測定したところ、一八〇―一三五で今までに経験したことのない数値です。医者によりますと、血圧が高いことが原因ではないかとのこと。放置すると、動脈硬化を促進し、脳卒中・慢性腎臓病などの病気に繋がるとのことです。最近の研究から男女問わず高血圧の影響が大きいことが明確になってきているようです。脳卒中は命が助かっても運動障害や言語障害が残ります。長期のリハビリが必要となることが多いよ

す。しばらく長い付き合いになりそうです。今後、日本はビッグなイベントが盛り沢山です。今年の九月にはラグビーワールドカップ、二〇二〇年にはいよいよ東京オリンピック、そして、二〇二五年には大阪万博博覧会が開催されます。足・腰に自信のある方は、ぜひとも会場まで出向いてみてください。又、TVでの応援も良いでしょう。特に、東京オリンピックは楽しみですね。応援にしても、健康でなければなりません。健康は家庭円満、そして、大きくは日本が明るくなる原動力にもなります。健康第一を願って幸せを築きましょう。

この症状を抑えるために血圧降下剤を処方され現在服用しています。現在、落ち着いていますが、血圧が高くなるか不安定のため薬の服用は、半年から一年近く服用して欲しいとのこと。



**関東さつなん**  
電気科・情報技術科役員一同

副会長 桑木野 智 第1回S41年卒  
副会長 山崎 幸雄 第1回S41年卒  
副会長 阿久根 学 第5回S45年卒  
幹事 柳 絹子 第7回S47年卒  
幹事 藪田 哲昭 第5回S45年卒

笑顔あふれる…我が科のテーブルで年にいっと位は大いに楽しみませんか。

**祝 関東さつなん**  
建築科役員有志

野間 善治 (S36年卒)  
吉留 浩一 (S42年卒)  
草原 睦雄 (S46年卒)  
小藺 照美 (S50年卒)  
篠原 孝志 (S52年卒)  
柿迫 浩人 (S60年卒)

基板のことならお任せください  
**フェニックスアート株式会社**

《業務内容》  
プリント配線基板の設計  
プリント配線基板の販売  
レーザーフォト作画 など

代表取締役 **藪田 哲昭**  
(S45年 電気科卒)

東京都三鷹市井口3丁目6番地16号  
アップルかえで通りビル202  
TEL: 0422-33-5531 FAX: 0422-33-5875  
support@phenix-art.co.jp

**関東さつなん**  
機械科卒有志

・黒瀬 勝弘 (S37) ・蔵前 充廣 (S37)  
・羽山 勝男 (S37) ・宮原 秀朗 (S38)  
・岩井 宗志 (S40) ・東 正則 (S41)  
・尾曲 正孝 (S41) ・西元 博文 (S43)  
・田中 逸穂 (S48) ・東垂水隆彦 (S49)

お元気ですか……  
同窓会で飲みましょう。

代表取締役 **折尾 崇** (H7年 機械科卒)

「出会えてよかった」といわれる会社でありたい。

お客様へ新しい価値を創造し地域社会に貢献します。お気軽にご相談ください。全力でご支援させていただきます。

**OGO** 豊かな住生活と夢をお客様へ株式会社オリオ  
不動産、賃貸、売買、コンサルティング

東京都知事(1)第96006号  
TEL:03-6805-4300 FAX:03-6805-2370  
all@ml.orio-realestate.com  
〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-20-11-1F

**ユーラステクノ株式会社**  
URAS TECHN

世界標準バイブレータ  
"Uras"

・振動技術で社会に貢献  
ニッチ産業で世界を目指す  
・ゆらずから→ユーラス  
面白い・洒落の利いた会社

技術部 **東垂水 隆彦** (S49年 機械科卒)  
**薩南工 チェスト!**

東京都千代田区内神田2丁目16番地9号  
センボービル2F  
TEL:03-3254-6101(代) FAX:03-3254-6105  
http://www.uras-techno.co.jp



# 関東さつなん 同窓会の歌ヒストリア

昭和四十七年 佐藤 高峰  
電気科卒

学校紹介で「これからは女性も学ぶべき」と、力説された上井先生のお言葉に感動し、昭和四十四年に電気科に入学しました。すると電気科だけで女性が7人。女性だけの体育の授業もありましたが、男子生徒と並び競う色々なことが、私にとっては喜びでした。

通学は加世田駅から貸切スクールバス。原付バイクの免許を取ってからは、スクートをひらひらさせながらバイクで。T定規を持ち登校する自分の姿を誇らしく思っていました。

就職先は静かな環境で鎌倉にある三菱電機鎌倉に入社しました。その後、職場結婚をして、娘が生まれました。娘が小学校に入學する年のお正月に、友達に教えてもらったと言って、ピアノを上手に引く娘を見てびっくりしヤマハの教育を受けさせました。二歳ほど年下の友達と学ぶのですから物足りなかつたのか、どんな自分で先に進めて、それでも「やらせましよう。間違えていたら教えてください」と言ってきた指導者にめぐり合えて、音を楽しむこと、創作することを学びました。

それからずっと音楽にひたつた人生です。そして、平成二十七年冬、東京で娘のミニコンサートがあり、柳さんに声を掛けましたら、鹿児島から遊びに来ていたお友達と一緒に来ていただきました。昭和四十七年卒業関東在住の電気科の面々は、時折会い、誰かが上京すれば呑んかたをしています。柳さんは支部同窓会役員会で知っている会場を予約してくれていましたので、柳さんが長くと同窓会に尽力されている事を知らずに、私は傍観していましたが、すぐくうれいことでした。

です。皆さんの前でちゃんと歌えなくてはならないと、桑木野さんが以前のCDプレーヤー持参で、もう一人の作詩者草原さんと、最寄の大船駅まで来てくださったって、カラオケルームで娘の歌唱特訓を受けました。

周年同窓会で、皆さんにお披露目することができました。これからも歌い継がれる「関東さつなん」同窓会の歌の作曲のお手伝いができた事を、母子ともに光栄なことと、感謝いたしてお祈りいたします。

極的に外へ出かけなさいと言われた。仕事もやりなさいなど、予想もしない診断であり、やっとな夜眠れるようになった。



## ストレスは本当に怖い

昭和四十一年 山崎 幸雄  
電気科卒

昨年の十月まで仕事や趣味に本當に楽しく暮らしてきた。定年後、マンション管理員を八年ほど勤めていたとき、思わぬ出来事が十一月に入り、金銭の絡む問題が職場で発覚した。

方たちも大変だっと思つた。その結果、自分に仕事の負担が振りかかってきた。それから自分が連日眠れないようになつた。物忘れも激しくなり、うつ状態にもなつてしまつた。

自分が非番のときは代行会社より管理員が派遣されてきた。しかし、何も引継ぎの手順書を作つていなかったのだ、代行の

自分が非番のときは代行会社より管理員が派遣されてきた。しかし、何も引継ぎの手順書を作つていなかったのだ、代行の

二〇一四年十月、テレビで本年のノーベル物理学賞に赤崎勇氏、中村修二氏、天野浩氏の三氏が選ばれたと発表されました。

大学の病院で検査したところ、これといって悪いところはなかつた。最後に受診した心療内科では、じつとこはタメ。積



こと、それは籍出小学校校門斜め前の道路脇に『赤崎勇先生生誕地』の立て札を見かけたのです。以前から聞いてはおりましたが、実際に目にしたとき、なぜか赤崎先生の分身に出会えたような激しい感動を覚えました。



## ノーベル物理学賞 赤崎勇先生 生誕地

昭和二十九年 松久保 比美子  
普通科卒

その時から二年たった平成二十九年十一月終わりのころ、関東さつなん「同窓会の歌の作曲者を探している」と柳さんから電話がありました。お正月のゆりの時間に曲が出来て、作詞者のお一人でもある桑木野さんに曲をお披露目すると、涙を流して喜ばれたと柳さんから報告がありました。それからずっと、だいやめに聞いていたそ



運動会の出し物



後列左から2人目が私

た平成二十九年十一月終わりのころ、関東さつなん「同窓会の歌の作曲者を探している」と柳さんから電話がありました。お正月のゆりの時間に曲が出来て、作詞者のお一人でもある桑木野さんに曲をお披露目すると、涙を流して喜ばれたと柳さんから報告がありました。それからずっと、だいやめに聞いていたそ

二〇一五年十月、傘寿の同窓会に出席のため里帰りした時の

赤崎勇先生 生誕地  
ノーベル物理学賞受賞 平成26年12月10日

その立札は、南九州市知覧町の行政が建立されたものと思つておりましたが、有志の皆様方の寄付によるものだそうです。そして周りの草取りや清掃など管理もされていると伺いました。

**おじゃったもんせ!!**

豊富なかごんま料理と焼酎で待ちよもんで!!

郷土料理

**薩摩の里**

〒169-0075  
東京都新宿区高田馬場4-18-10-2F  
TEL 03 (3363) 3258  
FAX 03 (3350) 1483  
店主 山下由人  
(知覧町中郡出身)

星のふる町：やすらぎの里  
**関東さつま川辺会**

会長 川野 博一  
副会長 大坪 剛  
副会長 東 昭雄 (兼任)  
副会長 吉留 浩一 (兼任)  
会計監査 野間 善治 (建36)  
会計監査 大平 キヨ子  
幹事長 東 昭雄 (建38)  
副幹事長 本 田 和 幸

事務局 〒181-0005 三鷹市中原3-8-30  
☎ 0422-26-7065 吉留 浩一 (建42)

―― 薩南工高出身役員 ――

古市 仲 (治26) 芝原 正志 (土39)  
水溜 廣幸 (土43) 草原 陸雄 (建46)

**関東さつなん**

普通科有志

東 治男 (S32)  
松山達郎 (S32)  
中木原盛夫 (S33)  
下野敏孝 (S33)

◎ 32号おめでどう  
ございます

**株式会社ピーエス技研**

〈低炭素社会を目指す企業〉

〒196-0002 東京都昭島市拝島町1-8-2  
TEL 042-549-1957  
FAX 042-549-1958  
http://www.psgiken.com

代表取締役会長 **阿久根 学**  
S45年 電気科卒

人と環境への思いを持って  
地元とともに未来を築く。

**橋口建設株式会社**  
Hashiguchi Construction CO.,Ltd.

ISO取得 (品質・環境・労働安全衛生)

代表取締役 **橋口 良一**  
(S41年 土木科卒)

専務取締役 **北 寛郎**  
(H4年 建築科卒)

〒897-0133  
鹿児島県南九州市川辺町下山989  
Tel : 0993-57-2511 Fax : 0993-57-2034  
URL : http://hasiken.co.jp/  
Mail : hasiken@mocha.ocn.ne.jp

(地に育てられて、おかげさまで40周年)

**牧添土地家屋調査士  
・行政書士事務所**

土地家屋の登記・調査・測量・境界確認の専門家  
土地利用許認可・会社法人設立等の  
官公署許可申請の専門家

所長 **牧添 豊海**  
(S40年 土木科卒)

〒267 0061 千葉県緑区土気町370番地6  
TEL 043 (294) 3766  
FAX 043 (295) 3704

**鹿児島直送のさつまあげ、いも焼酎が飲める店**

神田駅北口徒歩30秒

**さつま**

〒101 0047 千代田区内神田3-21-2  
TEL 03-3252-8728  
店主 **中川 笑子** (H姓馬場)  
(S37年 建築科卒)

**関東知覧会**

会長 前尾 品藏  
幹事長 長瀬 赤小折  
副幹事長 三村 大永  
事務局 瀬川 久隆  
事務局長 折原 大輔  
事務副局長 折原 大輔  
事務副局長 折原 大輔  
事務副局長 折原 大輔

二孝子 (機41)  
千草 志春  
兼清 春宏  
清和 春子  
光洋 夫弘  
光保 一弘  
保一 則雄  
隆 夫 (建33)  
昭 夫 充

古い町並みに心やすらぐ町  
平和の尊さを語りつぐ町

今年 第31回 総会開催日 ………  
**2019年10月13日(日)** アルカディア市ヶ谷  
親戚知人の皆さん お誘いください

# ★「関東さつなん同窓会の歌」★ 誕生秘話

【さつなん はなれて  
いくとしつきと】  
【ちらんを はなれて  
なんじゅうねん】  
【かごしま はなれて  
いくとしつきと】

この出だしで始める親しみのあるカジュアルな曲「関東さつなん同窓会の歌」誕生秘話を紹介します。

母校が平成三十一年創立百周年を迎える前年、関東支部も発足六十周年、諸先輩のご尽力で歴史と伝統を継承してきました。この良き時期に何か後世に残すものはないかと、思慮ふか考えた一人の先輩がいました。その方は、桑木野副会長（昭和四十一年電気科卒）です。

母校への愛着を持ち、仲間と切磋琢磨し合う姿を感じてほしいと思い、歌い、そして人生を楽しく過ごすという想いで思索を重ね原案の作詞を手掛けていました。ある日、草原君「関東さつなんにも同窓会の歌」があれはいね。と気軽に話しかけていただけなのです。そして桑木野先輩と草原の試行錯誤が始まりました。喧々諤々と話あうなか、2カ月余りで何とか、三番までの歌詞が決まりました。

次に作曲を誰に依頼するかということになりました。本部同窓会事務局や、母校の音楽担当の先生にでもお願いしようか。とか、プロに依頼するかとか、いろいろ意見を出し合い悩んでいたところ、ふと桑木野先輩が電気科後輩にあたる柳桐子（電気科卒・昭和四十七年）さんに関東さつなん同窓会の歌の詩はできたが、作曲者がいなくて困っていると漏らしたのです。そうすると、私同級生の娘さんに音楽演奏活動をしている方がいるよ。ということですがお話を通していただけました。まさに危機を脱した思いでした。幸いにも関東さつなんの昭和四十七年電気科卒佐藤（旧姓中村）高峰さんの娘さん佐藤美晴さんが関東さつなんのため、作曲を快く引き受けていただきました。作詞の部分も美晴先生の深い思い

やりで少し手直しをしていただき完成にいたしました。現在美晴さんは「ジマーみはる」というペンネームで作曲など音楽演奏活動を活躍に行っている方です。なお、昨年の関東支部同窓会・懇親会では、ダイヤモンドアフタヌーンコンサートとしてホルン演奏を披露していただきました。

母校も本年（二〇一九年）十月には百周年を迎えます。これからも未長

## 関東さつなん同窓会の歌

作詩：桑木野 智（電気科 S41 年卒）  
陸雄（建築科 S46 年卒）  
作曲：ジマーみはる（佐藤 美晴）  
旧姓【中村 高峰（電気科 S47 年卒）娘】  
（2018 年 3 月作）

さつなん はなれて  
いくとしつきと  
ちらんを はなれて  
なんじゅうねん  
かごしま はなれて  
いくとしつきと

おおもい いい だだす のはは まいり のせな うんか しゅせい  
もも いい だだす のはは まいり のせな うんか しゅせい  
ゆ め どう きぼ うをは もつ かん どう へばい  
ん つし か み を たて ひ との た べい  
よ き と も な か ま に さ さ え ら れ

あ の か お あ の こ え は げ ま さ れ え が お あ ふ れ る どう そう せい あ  
あ の か お あ の こ え お も い だ し く も が お あ ふ れ る どう そう せい あ  
あ の か お あ の こ え な つ か し く か た り つ き な い どう そう せい あ

あ あ あ かん どう さつ なん どう そう かい

## ホームページの活用

電気科 昭和四十五年卒 事務局 阿久根 学

薩南工業高等学校同窓会関東支部のホームページを開設して半年以上たちました。

同窓生の皆様、ホームページを御覧いただけただけでしょうか。インターネットに慣れない同窓会役員有志で立ち上げ運用しているため、完ぺきとはいきませんが、この会報誌「関東さつなん」に掲載しきれない写真や情報をできるだけ掲載していきたく考えています。また、昨年制作しました「関東さつなん同窓会の歌」も演奏付きでいつでも練習できるようにしています。

同窓生から提供していただきました「鹿児島県人世界大会」(昨年鹿児島市で開催へ参加された際の貴重な情報やその様子なども掲載させていただきました。

今後は、ホームページをいかに皆様にご利用していただけるかが喫緊の課題と思います。また、新たな活用方法も考えていきます。

「関東さつなん」に広告協賛いただいている会社のホームページ・求人求職等の情報や、各ふるさと会ホームページ等このリンクを結ぶなどの水平展開も考

えたいと思います。  
(リンク希望の方は事務局までご連絡ください)  
ホームページは、同窓会と皆様を繋ぐ架け橋として情報発信していければと思っております。ほかにもよいアイデアがあればご提案いただければ幸いです。

些少でも皆様のお役に立つホームページにし、薩南工業高等学校同窓会関東支部が今後も益々発展できること、皆様が益々健康で健やかであられることを祈願したいと思います。宜しくお願い致します。  
<http://satsunan-kantou.net/>

## 創立 110 周年記念行事

関東支部	1	創立 110 周年記念祝賀行事へ出席者の促進 【母校で在校生とともに創立 110 周年記念行事を祝いませんか】
	2	関東支部記念総会 2019 年 6 月 22 日 (土) 講演：講師【昭和 49 年建築科卒「トシ・カツ・サチ・マサ&サダム」】 演題：【それぞれの人生 薩南と・・・】
	3	関東支部会報「関東さつなん」母校創立 110 周年記念特集号 (第 32 号) 発行 (祝) “歴史を継ぎて母校創立 110 周年、栄えあれ我が関東支部同窓会” 特集：「行ってみたいくなる橋」など
学校・同窓会本部	1	創立 110 周年記念事業募金 募金目標額：1,000 万円以上 募金：一口 5,000 円 募金納入締切：2019 年 8 月 30 日 (金) 募金納入先：〒 897-0302 南九州市知覧町郡 5232 薩南工業高等学校創立 110 周年記念事業 郵便振替口座：01710-1-150480 電話：0993-83-2214 FAX：0993-83-2215
	2	記念事業 ア 記念誌・記念新聞の発行 イ 教育振興事業 (水車からくり・モニュメント等)
	3	記念行事 ア 記念体育祭・記念文化祭 イ 慰霊祭・記念式典・記念講演会 2019 年 10 月 26 日 (土)

## 各科の応援歌

在校世代により声をからして唄った方とご存知ない方がいらっしゃるようですが、建築・土木・機械科の応援歌です。

### 建築科応援歌

一 薩南の二丁目に来てござれ  
よかにせぞろいのせい揃い  
そこで目立つは建築科  
土木逃げるも無理はない

二 薩南二丁目来てござれ  
速足ぞろいのせい揃い  
そこで目立つは建築科  
機械負けるも無理はない

### 土木科応援歌

一 みかん色は土木の印  
昔の人の言うことには (ホイホイ)  
力もピンタも日本一 (ホイホイ)  
土木の選手は早足ぞろい  
何をさせてもトップは土木

二 みかん色は土木の印  
かわいいスケさんの言うことには (ホイホイ)  
意気も器量も日本一 (ホイホイ)  
土木の選手はよかにせぞろい  
ピンからキリまでトップは土木

その他の歌詞は  
関東さつなんHPに掲載予定!



### 機械科応援歌

一 古き都を写せしかこ薩南の美し国  
東に望む母ヶ岳流れも清き麓川  
自然の恵み身にうけて学びの道に  
励みなん 我等機械科 薩南健児

二 晴れ渡りたる紺碧の空は我等が  
象徴なり  
炎熱焦がす夏の日も寒風肌をさす  
冬も希望の光かけつつ工の業に  
いそしまん  
我等機械科 薩南健児



## 電気科45年卒一同

阿久根 学・蘭田哲昭  
上原 亨・田中春夫  
山口教之・松山義弘  
取違道夫・塗木孝治

焼酎の純新は、薩摩から。

## 株式会社 クリエス

代表取締役 下前 和則  
(S45年 建築科卒)

E-mail:k\_shimomae@h-creas.co.jp  
携帯：090-8809-3820

〒192-0045  
東京都八王子市大和田町 5 丁目 17-33  
内藤第 2 ビル 301 号室  
TEL042-649-1067 FAX042-649-1068



# 特集 行ってみたいくなる橋

自然環境にマッチし景観を考慮した美しい橋に出会うと、大きな感動と多くの思い出をつくることができます。編集担当（土木科・都市工学科）のメンバーが出会った、関東周辺の身近な橋を紹介します。

## 東急東横線多摩川橋梁

昭和49年土木科卒 新原 亨

東急東横線多摩川橋梁は、都県境の多摩川（一級河川）に架かる東横線および目黒線の上下線（複々線）が運行する鉄道橋である。

何の変哲もない鉄道橋であるが、平成三年秋の着手、初めて監理技術者として仕事を担当した思い出の橋梁である。

**形式** 連続箱型鋼橋梁（東横線の複々線化）

**橋長** 約63m×6径間＝約378m

**完成** 平成九年五月

**特徴** 多摩川の景観に配慮した構造（桁は直線を基調、や意匠（グレー）を基調とした暗緑色のラインにより、約3mの桁高をスマートに見せている）

### 苦勞話し（思い出）

①工程や寒さとの戦い  
河川敷内での工事は、十一月から翌四月までの渇水期六ヶ月間で全ての工事を終わらなければならず、また、近接する営業鉄道線への悪影響や安全上の必要から、主要な作業のほとんどが東横線の終電から初電までの間の夜間作業となり、河川敷内の橋梁上での夜間作業は寒さとの戦いでもあった。

### ②橋脚構築と上部工架設

低水敷部の下部工では、巨礫層への長尺鋼管矢板の打設に苦勞した。一方低水敷範囲の桁架設は手延式送り出し工法によったが、桁挿出し中の撓み量の予測と実測に基づいた施工管理、日照や気温の変化に伴う桁の変位管理に苦勞した。その後、高水敷の桁はベント併用によるクレーン架設とした。最後のブロックが所定の位置

に収まり、全体の桁が一体となった瞬間の喜びは、今でも思い出することである。

### ③富士山と桜

冬場の晴れた朝、橋梁上を通過する電車内から丹沢の向うに見える富士山が大きく美しく、併せて、東京方の高台（通称、亀の子山公園、ソメイヨシノの名所である）に咲く桜の絶景は、五月からの出水期が迫り追い込まれた気分をやさしく癒してくれたものである。



▼工事着手前（平成3年10月）  
今は懐かしい「ワーレントラス橋」であった。因みに、旧橋は当社にて施工（昭和元年）



▲工事完成後（東京方から川崎方を臨む）  
構造は連続箱型鋼橋梁（約63m×6径間、桁高3m）

## 隅田川の桜の名所「桜橋」

昭和58年土木科卒 市坪勝則

桜橋は、隅田川に架かる台東区と墨田区を結ぶ隅田川で唯一の歩行者専用の橋梁です。

昭和六十年の土木学会田中賞を受賞しています。

**形式** 連続鋼X形曲線箱桁橋（連続曲線鋼箱桁）

**橋長** 百六十九・四五m

**完成** 昭和六十年四月

**特徴** 隅田川兩岸の隅田公園を結ぶX形のスタイルが特徴的。

浅草から東京スカイツリーへの散策ルートとしても人気が高まってきています。春は花見、夏は隅田川の花火大会、秋は紅葉と四季を通じてそれぞれの景観が楽しめます。



▲2015年 台東区側から東京スカイツリーを見上げて



▲2016年 墨田区側から台東区側への俯瞰

## 自然との調和「手賀大橋」

昭和44年土木科卒 福留 勲

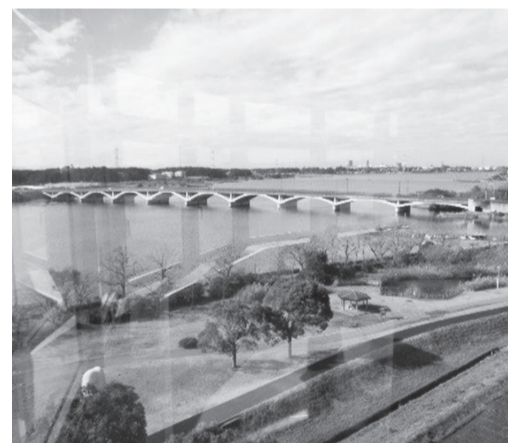
手賀大橋は、柏市箕輪新田と我孫子市若松を結ぶ手賀沼公園の中央に架かる千葉県が管理している橋梁です。

**形式** 十二径間連続上路式アーチ橋

**橋長** 四百十五m

### 完成

平成十三年片側二車線自然景観にマッチした橋で、アーチ部は水鳥をイメージからは、手賀公園の自然豊かな景観を楽しむことができ、また手賀沼の沿線には散策路が整備され、バードウォッチング、ジョギングなど、訪れた人の憩いの場として親しまれています。



▲水の館展望室（我孫子市）からの全景



▲水鳥の羽ばたきをイメージ（手賀沼親水広場側より）



▲アーチ桁下部（道の駅しょうなん側より）  
撮影：平成30年11月



現在の勝関橋



現在の勝関橋（上空よ切）



昭和35年頃の都電 勝関橋



昭和35年頃の勝関橋



昭和35年頃の勝関橋

## 勝関橋の思い出

昭和35年土木科卒 桃瀬和好

勝関橋は東京都中央区築地から勝どきに至る隅田川に架かる橋である。当時は隅田川を航行する船舶が多く、陸運よりも水運を優先させる可動橋として大型船舶の通航を可能として、昭和15年につくられた。

「勝関」の名は明治期の日露戦争勝利の記念碑が築地に建設されたこと、時代背景と相ま

て「勝関」の名を継承している私が上京した昭和三十五年に勇壮に跳開し、目に焼きついた思い出の橋である。

**着工** 1933年（S8年）、竣工1940年。最後の開閉1970年で現在に至る

**全橋長** 246m、幅員22・0m

**中央跳開部** 中央跳開部可動径間44・0m

**中央可動部** 中央跳開部可動径間44・0m、シカゴ型固定軸双葉跳開橋

**側径間** 86・0m×2はソリッドリブタイプアーチ橋

平成三十年度会務報告

四月七日

・会報関東さつなん第三十一号印刷前チェック(株)盛進社)一名出席

四月二十八日

・役員会(①支部総会案内と会報「関東さつなん」第三十一号発送)②支部総会役割分担について)十七名出席(株)ピーエス技研・関東支部事務局)

六月二日

・川辺高等学校東京同窓会総会(新宿ワシントンホテル)一名出席

六月九日

・役員会(支部総会役割分担について最終確認)①会場レイアウト関連②備品等の確認)十六名出席(株)ピーエス技研・関東支部事務局)

六月二十二日

・関東支部総会(水月ホテル外荘)
各科の出席者内訳(建築二十九名)(土木・都市十四名)(採治・地・金五名)(機械十三名)(電気・情報十二名)(普・家・生九名)(母校三名)(友好団体十一名)合計九十五名。
開会後、亡くなられた会員のご冥福を祈念して、黙祷を捧げました。その後、福留支部会長から支部発足六十周年を迎え諸先輩や会員への感謝の意、「HPの開設」や「関東さつなん同窓

鹿児島県立薩南工業高等学校同窓会関東支部役員名簿

平成31年4月1日

Table with columns: 役職名, 氏名, 専科, 卒年, 自宅住所, 出身地. Lists various roles and members of the Kyushu Kyushu Industrial High School Alumni Association.

会の歌」を活用していただきたい旨、発表がありました。次に

議事に入り、会務報告及び会計報告として会計監査報告のあ

と、本部同窓会から橋口会長、母校から大保(学校長)先生、

本部同窓会事務局から有蘭(機械科)先生三人からそれぞれ本

部・他支部同窓会近況、母校の先生から学校在校生のすばらし

い心技体活躍の様子が報告されました。

特別講演は知覧出身の永野隆一氏(紙芝居屋 旅はたる代表)

を講師に招き、演題「お笑いトーク 脳活性体操」と題して、

話術による笑いに参加者全員による体の動きがさらに笑いを

誘う感動の連続でした。

懇親会はジマーみはる先生によるホルン生演奏で場を盛り上

げていただきました。さらに「関東さつなんの会」の七名の躍

動あふれる踊りで懇親会を大いに盛り上げていただきました。

楽しみビンゴゲームの売上全額、母校生徒会の活動運営に役立

たせるため、寄付をいたしました。

九月一日

・加治木工業高等学校同窓会平成三十年度関東支部総会(三州倶楽部)一名出席

九月二十二日

・役員会(本部同窓会会報「さつなん」送付作業・支部運営方針検討事項及び役員会開催スケジュールについて)①総会・懇親会の反省②総会出席者・年会費納入状況等)③関東さつな

ん会報第三十二号編集計画への取組(④各科の連絡体制確保)

(⑤母校百十周年記念行事への取組)(⑥新卒会員の入会促進受

入れ取組)(⑦友好団体への出席者報告)(⑧支部HP活用によ

り会員・新卒者へ情報提供PR)十四名出席(株)ピーエス技研

十月十四日

・関東知覧会第三十回総会・懇親会(アルカディア市ヶ谷・私学生会館)一名出席

十一月二十四日

・役員会(①関東さつなん会報第三十二号編集・発行について②特別講演について③新卒・既卒者への参加促進について④母校百十周年記念行事関連について⑤会報発送までの作業及び役割確認について)十三名出席(株)ピーエス技研・関東支部事務局)

三月三日(平成三十一年)

・関東さつな川辺会総会(ホテルメトロポリタン エドモント・飯田橋)一名出席

同窓会関東支部事務局
住所: 東京都昭島市拜島町 1-8-2 (株) PS 技研内
事務局長: 阿久根 学 (昭和45年 電気科卒)
電話番号: 042-549-1957
メールアドレス: akune@psgiken.com

編集後記



会報三十二号は、「母校創立百十周年記念号」に相応しく、また、土木科としての個性あふれる新聞を作ろう!」との掛け声のもと、土木科を中心に編集を進めてきました。

編集作業は初めての経験であり、慣れもあって戸惑うことも多く、その都度、編集の仲間に助けていただいた。定期的開催する編集会議では夕方になると場所を移動し、方言丸出しで夜遅くまでノミニュケーションを深めた。

苦勞もあつたが、一年間の編集作業もようやく先の見通しがついたところである。これまで幾度となく味わってきた担当工事が完成した際の達成感と同じような感慨がよみがえり、心地よい安堵感も感じているところである。

原稿執筆から会報発行まで携わっていただいた多くの方々のご理解とご協力に對し、深く感謝を申し上げます。

昭和四十九年土木科卒 新原 亨

平成三十年 総会・懇親会出席者名簿

Large table listing attendees for the 30th General Meeting and Reunion, categorized by department: 機械科 13名, 土木・都市工学科 14名, 建築科 29名, 探鉱・冶金・金属科 5名, 電気・情報技術科 12名, 普通・家庭・生活科学科 9名.